

平成27年度

第3回 阿賀野市入札監視委員会

平成28年3月24日（木）

阿賀野市総務部管財課

平成27年度 第3回阿賀野市入札監視委員会 会議録

- 1 日 時 平成28年3月24日(木) 午後2時～午後3時15分
- 2 場 所 阿賀野市役所 委員会室(4階)
- 3 委 員
入札監視委員 佐伯竜彦、磯部 亘、本間康子、佐藤哲雄、笠原尚美
- 4 傍聴者 3名(報道機関)
- 5 議 事
開 会
委員長あいさつ
議題
(1) 期間内の発注状況等報告
(2) 抽出案件の審議
(3) 次回抽出委員の選出

【抽出案件】

制限付一般競争入札 (A) 【3件】

No.	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位:円)	落札率	発注課	入札参加者数
A-9	水原郷病院解体工事(その1)	建築	坂詰・小林・ライズ ビルド特定共同企業体	315,360,000	98.35%	地域医療 推進課	3JV
A-10	水原郷病院解体工事(その2)	建築	小菅・帆苺・研創 特定共同企業体	237,384,000	97.29%	地域医療 推進課	3JV
A-13	山口南100-1-5号 管渠工事	土木	横山工業(株)	26,136,000	95.92%	下水道	29

通常指名競争入札 (C) 【1件】

No.	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位:円)	落札率	発注課	入札参加者数
C-37	防犯灯LED化工事	電気	(有)五頭電気商 会	3,218,400	64.50%	総務課	7

随意契約 (D) 【1件】

No.	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位:円)	落札率	発注課	見積業者数
D-1	京ヶ瀬支所大規模改修工事設計 業務委託	コンサル	(株)藤田設計	3,477,600	—	総務課	1

14:00

開会あいさつ（管財課長）

委員長あいさつ

議題1 期間内の発注状況等報告

事務局

期間内の発注状況等を報告

～質問・意見～

委員

発注方式別工事等一覧表中、一般競争入札44件において、共同企業体も含め市内業者が均等に受注しているように感じるが、発注者である市としてどのように感じるか。また、全体的に落札率が高いようである。

受注者が工事を下請けにだす場合、いわゆる丸投げするようなことはないのか。市の実態を伺いたい。

さらに、指名競争入札において指名を受けた業者は、発注者である市が示す内訳書や設計書により、自社で積算して入札額を決定しているものと理解しているが、それによろしいか。また、単価表は市で出しているのか。

事務局

制限付一般競争入札については、入札参加要件を入札公告により公表し、要件に合う業者が個々に入札に参加し、落札者となり契約に至る。同じ業者が複数の工事を受注することもあれば、そうでない場合もあり、市としての考えは特にない。また、高落札率については、近年業者の積算精度が上がったことにより、高落札率が進む傾向にある。

いわゆる丸投げについて、そのような話は聞いていない。ないと考えている。

業者の入札額の算出方法については、それぞれの業者が設計書等に基いて積算して算出している。また、単価表については、市では出していない。物価本として販売されている。

委員

私個人が心配しすぎのところがあるのだが、指名競争入札において、ある特定の業者のみが積算し、入札額の基準になる概算見積書を作成し、他の指名業者に概算見積額より少し高めの金額で入札に参加するよう促す、というような行為が、疑いも含めてあるのかお聞きしたい。

事務局

言われるような不適切な行為は情報として入っていない。もし入っているようであれば、資料中第5号様式談合情報対応状況表により報告する。

委員

6ページに不落となった案件があるが、不落の場合のその後の処理について伺いたい。

事務局

今回の不落の原因は、設計書と図面に相違があったことによるものである。

市のミス、設計書の間違いであれば、設計書を作り直して再度同じ業者による入札となる。設計書に間違いがない場合は、指名替えをして再度入札する。

今回のケースは、設計書に誤りがあり図面との整合がとれていなかった。その場合、業者側から質問としてあがってきて誤りが判明することが多いが、今回はその指摘がなかった。そのまま入札となり不落となった。業者を指名替し、再度入札を行い落札となった。

委員

市では2年ごとに入札参加資格審査の申請により審査し、名簿登録していると思うが、今現在の登録者数はどれくらいか。

事務局

市内のみの数ではあるが、業種ごとに土木62、建築29、電気8、管35、さく井14、機械器具設置14、とび・土工・コンクリート49、造園14、舗装29、屋根6となっている。複数の業種に登録している場合もあるので、業者数はもっと少なくなる。

委員

阿賀野市では市内優先で発注しているとのことだが、この中からということになるのか。

事務局

全登録となると、登録ナンバーで1800程となる。言われるとおり市内優先としているが、市内登録業者が少ない業種の場合等は、当然市外業者も指名する。

委員

8ページの随意契約について。随意契約でも落札率はあるのか。

事務局

随意契約であっても競争性を担保するべきとの観点から、予定価格を設定しているので率は出てくる。

委員

随意契約4件中3件は1者随契であり、その場合、予定価格となる参考見積もりも本見積もりも同じ業者から徴することになると思うが、1回目より2回目の見積もりが安くなるということが理解できない。業者は他に競争する相手がなければ100%の額で契約したいと思うのが普通であると考えているが。

事務局

D-2については、専門性が高いことから当該業者を選定した。修繕の内容が部品交換で、見積額のほとんどが部品の価格となっている。予定価格となる参考見積もりの時点では定価ベースの見積額であったが、本見積もりで定価より少し安くなったもの。

また、D-3については、本件の前の実施設計を請け負った業者であり、内容を熟知していることから監理業務についても委託した。実施設計の概ね何%として予定価格を出した後に、本見積もりを徴したところ、89.66%での契約となったものである。

委員

随意契約4件中、D-1とD-3についてどちらも設計会社の1者随契となっているが、内容が特別なものなのか。

事務局

D-1については、前年に耐震診断を行い、同じ業者に大規模改修設計を委託した上で、合わせて工事に入る予定のものである。

D-3については、前に実施設計を請け負った業者であり、同じ業者が監理業務を行ったほうが効

率がよいということである。

議題2 抽出案件の審議

委員長

今回審議事案を抽出された委員より抽出理由についてご説明を求める。

抽出委員

A-9 水原郷病院解体工事（その1）

A-10 水原郷病院解体工事（その2）

この2件はセットで取り上げたい。金額が一番大きいこと、落札率が比較的高いことが目だっていたため抽出した。同じような案件を2つにして別々の業者が受注しているのはなぜか、また、それぞれ入札参加者が3JVであるが、他にどのような業者が参加したのか聞きたい。

A-13 山口南100-1-5 管渠工事

入札参加者が29者と一番多いこと、その割には落札率が高いことから抽出した。

C-37 防犯灯LED化工事

落札率が非常に低いことが気になり抽出した。

D-1 京ヶ瀬支所大規模改修工事設計業務委託

随意契約案件の中で、契約金額が一番大きいものを抽出した。

抽出1 水原郷病院解体工事（その1）

抽出2 水原郷病院解体工事（その2）

事務局

A-9 水原郷病院解体工事（その1）、A-10 水原郷病院解体工事（その2）の契約までの経過を続けて説明。

抽出理由について説明

今期を代表する大きな工事2件となった。共同企業体を活用した意義として、解体に係る機械等の調達幅がひろがること、また安全管理、粉塵対策、地域住民対応など、より安全で効率のよい施工が期待できると判断したものである。

また、工事を2つに分割した理由としては、工期短縮である。解体後は外構工事が待っているため、工期の短縮が重要であった。実際新病院が平成27年10月1日に開院したが、駐車場が点在し、お客様に不便をかけていることから、早期解体が望まれた。

落札率については、設計業種が建築ということで、一般的に建築工事は資機材のウエイトが高く諸経費の割合が低いことから予定価格と入札額が近くなり、高落札率になりやすい業種である。同じ解体工事でも、工事概要にあるとおり内容は異なっており、それぞれに応札業者が見積もった価格が落札率となるので、率の相違はある。

～質問・意見～

委員

分割発注については、事務局の説明で理解したが、実際2件とも同じ3つの共同企業体が入札参加しており、仮に同じ共同企業体が落札した場合、工期短縮を目指した施工は可能なのか。

事務局

工期が同じであることは、入札公告の段階でお知らせしているので、施工可能な業者が応札してきていると理解している。

参考までに、市内建築Aランクは7者、Bランクは4者、合計で11者あり、今回の入札参加要件が構成員3者以内による共同企業体となっているので、理論的には最高で2者による共同企業体が5組結成可能なことになる。

抽出3 山口南100-1-5管渠工事

事務局

A-13山口南100-1-5管渠工事の契約までの経過を説明。

抽出理由について説明

制限付一般競争入札ということで、入札参加条件に合えば誰でも参加できる。多い少ないということは特段考えていない。

しかし、考えられることは、全国的に年々公共工事が減少している影響があるかもしれない。また、平成27、28年度入札参加登録業者のうち、市内土木一式工事Bランクの業者数がかなり増えたことも要因となっているかもしれない。ABランクあわせると39者となっている。

高落札率については、先ほども申したとおり、業者の積算精度が上がったためと考える。

～質問・意見～

委員

入札結果をみると28者（1者辞退）の応札額が、予定価格を超えない範囲でみんなきれいに並んでいるのが不自然なように感じるが、いかがか。

事務局

今回の工事は標準的な開削工ということで、比較的簡単な工事である。また、工事単価についても公表されている一般的なものである。専門の機械を使って穴を掘って管を入れるような難しい工事に比べ参加し易かったのではないか。設計ソフトの開発がかなり進んでいるので、設計書に合わせて単価を積み上げていけば、比較的似かよった数字が並ぶのも想像できる。

委員

他市では、入札参加者の入札額が横並びになるため、くじ引きで決定することがほとんどとなっているところもある。それと比べれば、阿賀野市はまだよいのではないか。また、高落札率については、98～99%が普通になっている自治体もあるので、阿賀野市が目立って高いという印象はない。

抽出4 防犯灯LED化工事

事務局

C-37防犯灯LED化工事の契約までの経過を説明。

抽出理由についての説明

この工事は、LEDを購入して取り付けるという単純な工事で、設計額における機器費の割合が4割強となっている。LEDの仕入れ具合によって工事価格が大きく変る。予定価格決定の際には、LEDは物価本に載っておらず、製品の定価で設計している。次に業者が入札額を見積もる際には、時価での設計をしてきているため、機器費が大幅に安くなったものと推測する。

委員

物価本にないということは、LEDは一般的でないのか。

説明員

蛍光灯は昨年から製造中止となった。今後は更に一般的になり、物価本にも載ってくるものと考ええる。

委員

今回の指名業者について、電気工事登録者8者中7者としたのはなぜか。

事務局

1者については、電気工事を本業としていない。設備工事を主としている会社で、電気工事を併せて施工する場合もあり、資格を有している。

抽出5 京ヶ瀬支所大規模改修工事設計業務委託

事務局

D-1 京ヶ瀬支所大規模改修工事設計業務委託の契約までの経過を説明。

予定価格を定めなかったことについては、通常は複数の業者から見積もりを徴して予定価格を定めているところであるが、今回は耐震診断とのつながりから1者のみであったため、予定価格を定めなかった。

～質問・意見～

委員

昨年度の耐震診断業務委託は、どのような契約方法であったのか。

事務局

指名競争入札であった。

委員

今回は1者随契で、見積もり価格の妥当性はどのように判断したのか。

事務局

後で2者から参考見積もりをとり、妥当性を判断した。

委員

1者と随意契約というと、価格は任せっきりというイメージがあるが、今回の案件の契約方法と契約金額についての考え方を今一度説明願いたい。

事務局

当該業者は、前年度の耐震診断で実際現地に入り現状把握ができており、データや図面が蓄積されている。仮に別の業者が設計するとなると現地調査が必要となり、価格はもっと高くなるものと推測される。業務の効率化と価格をより低く抑えられるという点で、当該業者との随意契約が有効であるとの判断となった。

委員

参考見積額はどれくらいだったのか。

事務局

数十万円、人件費相当分と考えられる。

委員

耐震、大規模改修と一括発注はできなかったのか。

事務局

前々年度の予算計上の段階で耐震化主体で考えていたものが、耐震調査の結果予想以上に傷んだということである。その結果を受けて大規模改修設計となった。

～質問・意見～

他になし

委員長

以上で抽出案件の審議を終了します。

議題3 次回抽出委員の選出

事務局

次回抽出委員については、事前に定めたとおり本間委員からお願いする。

4 その他

事務局

建設コンサルタント業務等に係る最低制限価格制度適用について報告。(平成28年4月1日から)

委員長

以上で、予定していた議事はすべて終了しました。

これで平成27年度第3回の阿賀野市入札監視委員会を終わります。

ありがとうございました。

閉会 15 : 15